

所属・氏名（薬学部 薬学科 氏名： 森 信博 ）

著書、学術論文等の名称	単著 共著 の別	発行又は発表 の年月	発行所、発表雑誌 等又は発表学会等 の名称	概 要
1 (著書) NEW パワーブック 物理薬剤 学・製剤学	共著	平成 24 年 3 月 (第 2 版)	廣川書店	最新情報を網羅し、わかり易く解説した教科書 (全 483 頁) 共著者:安藝初美、飯村菜穂子、伊 藤壮一、金尾義治、唐澤 健、北河修治、櫻井栄 一、芝田信人、田中哲郎、富田久夫、平山文 俊、森 信博、山下親正、吉川広之 担当部分:「第 4 章 製剤材料と医薬品添加剤」 (p.361～p.378)、「第 7 章 医薬品開発と品質保 証」(p.451～p.465)を単著
2 (著書) 薬学生・薬剤師レジデントのた めの感染症学・抗菌薬治療テ キスト	共著	平成 27 年 2 月	じほう	感染症の専門薬剤師を目指す薬学生や薬剤師 のための感染症の知識、技能を基礎から臨床まで 網羅したテキスト(全 509 項)共著書:石井良和、 藤村 茂、前田真之他多数 担当部分:「第 3 章 感染症治療薬」(p.293～ p.305)を共著
3 (著書) 栄養薬理学	共著	平成 28 年 4 月	建帛社	管理栄養士養成課程において設置されている 「薬理学」関連講義の教科書で、NST の推進によ って必要とされる管理栄養士が知っておくべき医 薬品および経腸栄養剤と栄養に関する知識を食 品・栄養学分野との関連性を持たせ学生にわか りやすく解説した(全 184 頁)。編者:田中芳明、 中村 強、共著者:柏原典雄、喜多大三、柴田哲 雄、久山哲廣、森 信博 担当部分:「第 1 章 薬理学の基礎知識」(p.1～ p.3、p.23～p.36)、「第 2 章 食物成分と医薬品の 相互作用」(p.42 ～p.47、p.52 ～p.53)を単著
4 (学術論文) Modulation of multidrug resistance-associated proteins function in erythrocytes in glycerol-induced acute renal failure rats.	共著	平成 29 年 2 月	J. Pharm. Pharmacol. 69(2) pp.172～181	急性腎障害時における ABC ランスポーター (MRPs)の機能変動に関して、グリセロール誘発 急性腎障害モデルラットで MRPs 基質薬物として CDNB(代謝物 DNP-SG が MRPs の基質)を用い て検討した(10 頁)。 (松島 葵、小田啓祐、森 信博、村上照夫)
5 (学術論文) Biopharmaceutical properties of tubeimoside-1: a cytotoxic amphipathic cyclic bisdesmosid	共著	平成 29 年 3 月	Int. J. Clin. Pharmacol. Pharmacother. 2 pp.126～131	土貝母の根茎から単離された両親媒性の環状 化合物であるサイクリックビスデスモシドの生物 学的応用性を明らかにするため、サイクリックビス デスモシドによる ICTZ の溶解度に及ぼす影響 等を検討した。 (小田啓祐、森 信博、村上照夫他)
6 (学術論文) Uptake and metabolism of mizoribine, an immunosuppressant, in L5178Y-R mouse lymphoma cells in vitro and peripheral blood mononuclear cells of rats and kidney transplant recipients in vivo.	共著	平成 30 年 8 月	Drug Metab Pharmacokinetic. 33(5) pp.232～239.	免疫抑制剤のミゾリビンおよびミゾリビンモノ リン酸化体の単核細胞(PBMC)内動態解析 リンパ球内に分布した後 5-位がリン酸化され、ミ ゾリビンモノリン酸化体(MZRP)として、IMP デヒド ロゲナーゼを阻害し、その結果 GMP 合成が抑制 され、リンパ球の幼弱化などにより免疫抑制作用 を発現することを明らかにした。 (小田啓祐、森 信博、村上照夫他)
その他、学術論文:39 報、総説:1 報 学会発表:国内 43 回、海外3回				